

## 原発と地震、プルサーマル問題について 後期高齢者医療問題について コミュニティバスの運行問題について



清水 澄夫

**問** 中越沖地震は甚大な被害をもたらした。想定

する東海地震、マグニチュード8・5に対し、中部電力は耐震裕度向上工事をしているので大丈夫だと言う。これをうのみにしないか

**答** 大地震が発生しても、国の耐震指針に基づき設計、建設をされており、浜岡原子力発電所耐震安全性は確保されています。安全上重要な設備については600ガルの地震に対しても安全機能が確保できるよう設計、建設されています。

**問** プルサーマル導入について、市長は住民の理解が得られたとの考えはどこで判断したか

**答** 市主催の説明会や各種団体との話し合いで一定の理解が得られたと考える。

て医療が受けられる制度の構築のために必要と考

えます。

**問** 後期高齢者医療制度について以下4点をお聞きする。

①保険料額と該当する人数は ②納付困難な高齢者に対する保険料減額への対応は ③老人保健法による「基本検診」は

④市長はこの制度の撤回を国、県に申し入れるべきでは

**答** ①年金額208万円の人

は年73、600円、年金79万円の人

は年1万800円です。対象者は4、123人(10月末)です。②所得の少ない世帯は均等割額の減額措置を行う。被扶養者で保険料を払ってこなかった人は2年間所得割なしで、均等割を5割軽減します。③後期高齢者医療広域連合が市へ委託することに

**問** コミュニティバスについて市長は検討すると

言ってきたが、その後の結果は

**答** 「地域公共交通会議」を立ち上げ、「浜岡」から東の路線は、朝夕の高校生を中心とした利用者が多く、廃止することができず市単独の自主運行バスとします。浜岡循環線については、学童の輸送が中心であるためスクールバスに切り替え

ます。御前崎地区から市役所・病院の路線は、比木回りを考えています。コミュニティバスは各市町とも利用者が少なく運営が苦しいと聞いています。福祉タクシー券との調整を図りながら考えていきます。

い

き

# 委員会報告

審議された質疑をピックアップ

## 総務経済 委員会

◆ 条例に関する審議

**問** 市議会議員や特別職の報酬を上げるべきではないと思うが執行部の意見は。

**答** 掛川市は特別職、議員共に引き上げ、菊川市は特別職は据置き、牧之原市はまだ決まっていない状況です。期末手当の率も県内すべて同率ではなく各市も決して高い率ではないため、今回期末手当の改正をお願いした。

※ 少数意見として据置きの意見もありました。

◆ 補正予算に関する審議

**問** 路線バス補助事業について、来年度から予定しているバスの予算規模は

どの程度になるのか

**答** この補正は浜岡循環線のみのもので、来年度予定しておりますものはスクールバスの運行であり、市バスの維持管理費等になります。その他相良御前崎線、相良浜岡線につきましては今年度実績から牧之原市と距離按分し20年度に約1、600万円の負担と予想されます。浜岡営業所から御前崎までは自主運行バスの予定ですが試算がまだ出ていません。



**問** 自主運行バスについて